

編集後記

『〈教育と社会〉研究』第27号を皆様のお手許にお届けすることをうれしく思います。

今号の特集は、本研究会の土台を築き、本誌の創刊にも関わられ、昨年(2016年)3月に逝去された中内敏夫氏の「公共社会と教育」についての議論に関連する若手中堅研究者の論考で構成しました。中内教育学がどのように承継され、発展させられているかがおわかりいただけるものと思います。

書評については、一橋大学大学院社会学研究科におけるプロジェクト型講義・先端課題研究「社会科学の承認論的転回——社会哲学・社会政策の新動向とその射程」(2012~2015年)の成果として編まれた『承認——社会哲学と社会政策の対話』(田中拓道編、法政大学出版局、2016年)につき、著書全体の書評に加え、2017年3月例会の合評会をベースとして会員が執筆した章の論文評を取りまとめ、全体でひとつの書評としました。書評の企画・調整に際しては会員の山本宏樹氏のご尽力をいただいた旨、付記させていただきます。

投稿論文に関しては、論文検討会での濃密な議論を踏まえながら改稿が重ねられ、3本の論文が掲載されました。アドバイザーの皆様、議論にご参加くださった会員の皆様に感謝申し上げます。本研究会の大きな特徴であるアドバイス制を生かしながら、よりよい論文を作り上げていく場として、『〈教育と社会〉研究』第28号への皆様からのたくさんの投稿をお待ち申し上げます。

今後とも一橋大学〈教育と社会〉研究会をよろしく願います。

(栗原和樹、谷川由佳、山田宏、山野上麻衣、横山陸、渡邊綾)

『〈教育と社会〉研究』第27号編集委員会

編集長：山野上麻衣

編集委員：栗原和樹、谷川由佳、山田宏、横山陸、渡邊綾、木村元、山田哲也

『〈教育と社会〉研究』第28号原稿募集

執筆希望者は、前頁の投稿要領にしたがってご応募下さい。

投稿希望〆切：2018年1月末日

原稿〆切：2018年3月末日

募集原稿：論文／研究ノート／文献・資料紹介／書評

〈教育と社会〉研究 第27号

2017年9月30日 印刷

2017年9月30日 発行

編集発行 一橋大学〈教育と社会〉研究会

印刷 社会福祉法人 東京コロニー